

社外取締役メッセージ



社外取締役
河合 江理子

中期経営計画1年目の総括として、新しいグループ経営基本方針である「お客様の資産価値最大化」を軸に、資産管理型ビジネスモデルは着実に進展しており、外部環境に左右されにくい収益構造への進化を高く評価しています。資産運用立国を目指して、国民が長期にわたって安定した投資リターンを受けられるよう、資産形成のパートナーとして責任を果たして行ってほしいと思います。

一方で課題は、海外ビジネスの収益性の低さです。コスト節減対応策などを実施しているなか、社外取締役も、ビジネス環境やガバナンスについて、海外担当や海外拠点のトップへのヒアリングを続けています。海外ビジネスネットワークは、当社グループのビジネスにとって重要な機能を果たしているので、さらなる改善を期待しています。

▶ P.45
海外ビジネス



社外取締役
岩本 敏男

世界を見渡すと軍事的な紛争のみならず関税などの経済リスクが増大し、パクス・アメリカナの終焉により国際秩序が大きく揺らいでいます。まさにパラダイムシフトの時代です。そのようななか、「お客様の資産価値最大化」を最優先に掲げた中期経営計画も2年目に入りました。さらに生成AIを含むDXのさらなる推進が、成長に大きく影響することが明らかになり、これらを事業運営メカニズムに積極的に取り入れ、イノベーションを起こしていくことが求められています。同時にサイバーセキュリティの強化など、事業遂行の支障となるさまざまなリスクに対しても、的確な対応策を講じることで、中期経営計画の確実な達成を図ってまいります。

▶ P.48
デジタル戦略



社外取締役
西川 克行

ウクライナやガザの情勢に加え、トランプ大統領の関税問題もあり、経済は不安定の度を増しています。このような厳しい情勢でこそ、当社グループの総資産コンサルティングによる「お客様の資産価値最大化」の考え方が力を発揮すると考えます。当社グループでは、お客様の状況とニーズを把握し、真にお客様の利益となる提案をしていくという努力を、地道に継続しています。担当者には、およそ資産のことであれば何を相談されても答えられるよう、知識を磨くとともに、真摯誠実な姿勢のもと、丁寧な説明とアフタフォローを行うことによって、お客様との信頼関係を構築してほしいと思います。

最近の金融業界では、フィッシングなどで口座を乗っ取る手段での詐欺事犯が多発しています。当社グループでは、関係部局が一丸となって、犯罪の被害からお客様を守る方策を講じていきます。

▶ P.67
コーポレート・ガバナンス対談



社外取締役
村上 由美子

日本は長年のデフレ経済から脱却し「金利のある世界」へ移行しようとしています。そして世界情勢は、各国の政治動向や地政学リスクといった不確実性が高まっており、歴史的な金融・経済環境の転換点を迎えていると言っても過言ではないでしょう。このように予見性の低い環境下においても、大和証券グループは「お客様の資産価値最大化」という理念に忠実にもとづき、「貯蓄から投資へ」の流れを促進する重要な役割を果たしています。長年従事した国際金融業務の知見を活かしながら、社外取締役として今後とも大和証券グループの進展に尽力いたします。

社外取締役メッセージ

社外取締役
伊岐 典子

2024年度スタートの中期経営計画にもとづく事業活動が、これまで総じて順調に推移してきたことは、グループ各部署でのたゆまぬ精勤の成果だと思います。他方、内外の政治社会経済情勢は、予想を超えた振れ幅で変化しています。2024年の日本の出生数は68.6万人と、公表されている将来推計人口の基本シナリオを大きく下回りました。この人口減少の加速化は、年金や税制などの公共政策のみならず、企業や産業の活動そのものにも大きな影響をもたらすでしょう。そのようななかで、大和証券グループの事業が、人生100年時代の安心で豊かな老後の実現という、難しい社会課題の解決に貢献するものであり続けるためにはどうすべきか、不断の検証や創意工夫が求められていると思います。

社外取締役
柚木 真美

昨今の株式市場をめぐる環境を鑑みるに、予測不可能な要因が多く、証券会社として確固たる経営方針を固持しつつ、取り巻く環境変化に迅速かつ柔軟に対応する姿勢が求められます。当社グループは、「お客様の資産価値最大化」をグループ経営基本方針に掲げ、ウェルスマネジメント業務を中核として、徹底してお客様目線の姿勢を貫くための仕組みの設定と教育を実施し、実践に反映させています。同時に人財に対する想いも熱く、惜しまず人財投資を続けています。2024年度に設定した中期経営計画およびKPIについて、2年目の現在、達成に向けて着実に前進していると言えますが、揺るがぬ経営目線を持つと同時に、環境対応への舵取りを迅速に行っているがゆえだと感じています。

新任社外取締役メッセージ

社外取締役
市川 晃

2025年度から新たに社外取締役に選任されました。どうかよろしくお願いいたします。

日本は「貯蓄から投資へ」と大きく舵を切ろうとしていますが、依然として現金や預金資産の比率は高止まりしています。資産形成には長期的な視点が不可欠で、国もNISAなどの制度整備を進めていますが、金融・資本市場を支える存在として、「お客様の資産価値最大化」を経営の基本方針に掲げる当社グループが果たすべき役割には、大きなものがあります。

金融商品が多様化し、複雑になっていくなか、お客様目線に立った丁寧な説明と対応が求められるとともに、若い世代が将来に向けて安心して投資を始められるよう、金融リテラシーの向上にも努めていくことが重要です。

我々を取り巻く状況は混沌としています。健全な金融・資本市場の支えなしには国の発展はありません。今後も学びを深め、当社グループの成長と企業価値の向上に貢献できるよう尽力してまいります。